令和5年度　福井市安居中学校　学校だより　NO.1

安居中 AGO-j.h.s. Story 物語

安居中HP　www.fukui-city.ed.jp/ago-j　TEL 37-0155　R5. 4. 28

福井市安居中学校は、生徒が主役の学校である

校長　野坂　訓由

本年４月１日、私は「生徒が主役」であることを理念に掲げる、この安居中学校に赴任してきました。生徒が主役の学校とは、つまりどのような学校なのでしょうか。まずは当事者である生徒にインタビューしてみましょう。

Q「安居中学校で「生徒が主役だ」と感じるのはどんなときですか?」

○　私たち生徒一人一人の考えが、学びや活動の場で尊重されていると感じたときです。
○　自分たちの活動が、先生や仲間に認めてもらえたと感じたときです。
○　自分たちが話し合ったり協力したりした結果、何かを成し遂げたと感じたときです。

なるほど、なるほど……。

「生徒が主役になる学校」の姿は、ほかにもいくつもありそうですね。生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さんも、その具体的な姿をたくさんイメージしてみてください。ただし学校は組織であり社会の縮図でもありますから、そこでの活動では必ず正義の筋が通っていなくてはなりません。なんでもかんでも生徒の思い通りに活動させる学校ではありません。

明治５年８月、日本で初めて近代的学校制度を定めた基本法「学制」が公布されました。日本が近代国家の一員として国際社会に打って出るための根幹として、国民の教育が重視されました。富国強兵、殖産興業のかけ声の下､欧米諸国の技術や知識を多くの国民に吸収・活用させることが重視されました。

学制公布から１５１年目を迎えた令和５年、現代の学校に求められていることは何でしょう。識者の言によれば、現代は予測困難な社会であることから、自ら社会の課題を見いだし、課題解決の方途を仲間と協力しながら考え実行し、振り返りながら次の一手を模索していく、そのような力が求められていると言われています。だとすれば、子供たちに主体的に考え行動する力や協働する力、自分たちの活動を振り返りながら考えや行動を調整・修正する力を育むことが、現代の学校が担う重要な責務となるでしょう。そのためには、学校は社会集団の一つとして集団の正義の筋を通しつつ、生徒が主体的に考え行動し、振り返って確認修正する場を積極的に設定し、生徒自らの発意と意志決定を促していくことが大事です。これが私が考える「生徒が主役」の学校の姿です。むろんこれまでも学校が担ってきた、人類のこれまでの活動から見いだされてきた様々な知恵を受け継いでいくことも重要ですね。

先日、体育委員会の生徒たちから、きたる５月１０日(水)に実施を予定している「校内マラソン大会」について、生徒主体の行事運営を行いたいとの提案がありました。その意気やよし。願いがあって、その願いを実現するための具体の提案ができる。素晴らしいと思います。独りよがりでなく、仲間とともに考え合い作り上げた提案を、私たち教員は歓迎します。

入学式

４月１１日（火）来賓としてＰＴＡ会長前田直宏様、保護者の皆様の御臨席をいただき、令和５年度入学式が行われました。

校長式辞では、「まずは自分の目標をもち、その目標達成のために自分で考えて一生懸命取り組んでほしいです。楽しみにしています。」とエールが送られました。

新入生を代表して、渡辺叶愛さんが「考えて行動したい。また、よき仲間と理解し合い、協力したい。」と決意の言葉を述べました。男子１５名、女子１２名、計２７名の新入生を迎え、全校生徒７６名で、安居中学校の令和５年度がスタートしました。

認証式

４月１２日（水）認証式が行われ、認証状が手渡されました。１学期生徒会、委員会委員長、学級委員長は以下の通りです。

生徒会執行部		委員会委員長		学級委員長	
会　長	福島　悠斗	学習風紀	林　慶太郎	１年	牧野　真大
副会長	親崎　旬	学校環境	井上　佳大		渡辺　叶愛
副会長	内田　涼	メディア広報	北川　瑛介	２年	大國　利一
庶　務	佐々木葵衣	文　化	本田　大星		岡　波音
庶　務	永田　玲愛	体　育	野村　真央	３年	藤本　康佑
		保健給食	末定　芙佳		伊原　明里

最近のみなさんの様子

生活オリエンテーション

部活動体験

部活動オリエンテーション

スクールプランとは？

安居中学校の学校運営の全体構想を示すもので、このスクールプランに基づいた取組を行い、よりよい学校運営につなげています。

福井市教育振興基本計画を踏まえ、下記の通り、令和５年度安居中学校のスクールプランができました。学校教育目標『志を持って、挑戦し続ける生徒の育成』をもとに、「Agencyを育む学び～つなげて深め合い高め合う～」を研究主題に掲げ、〇「主体的・対話的で深い学び」の追究　〇自己を見つめ行き方を探る「My learning」　〇協働で挑戦する「プロジェクト学習」を柱に、みなさんの生きる力が育まれるように学校運営を進めていきます。

令和５年度　福井市安居中学校スクールプラン

R5.4.27

【福井市学校教育目標】
郷土福井に誇りを持ち
たくましく生きる子どもの育成
【教育方針】
学びをつなぐ・未来につなげる
「つながる」を大切にした学校づくり

学校教育目標　志を持って　挑戦し続ける生徒の育成

【独立開校の理念】
社会参画型学力の育成
生徒が主役

校訓　　めざす生徒の姿

敬愛　互いを認め、感謝と思いやりの心をもつ生徒
剛健　心身を鍛え、たくましい行動力をもつ生徒
修学　自ら学び考え、全力を尽くす生徒

家庭・地域の願い

〇気持ちの良い挨拶ができる子
〇地域を愛し、地域に貢献できる子
〇誠実で、思いやりのある子
〇何事にも一生懸命取り組む子

めざす教師の姿

〇生徒の思いを尊重しながら学びに寄り添い、生徒の困り感を支えることができる教師。
〇生徒の学びを見取りながら、評価結果を適切に生徒に返し、学びの意欲を引き出し高めることができる教師。

研究主題　Agency を育む学び
～　つなげて深め合い高め合う　～

Anticipation<見通し>と Action<行動>と Reflection<振り返り>のサイクルで Agency を育む

「主体的・対話的で深い学び」の追究
重点目標①

◎課題を見いだし主体的に考え、協働探究する中で学びを深め、省察によって向上する。

・「全校一体型教科センター方式」を活用して学びを深める。
・公開研究会を行い安居中以外の方々と学びの交流を行う。
・校内授業参観を互いに行い、学びを見取る力を授業に生かす。

★生徒は課題に向かって主体的に考えている(80%以上)。
★教師は、付けたい力を明確にしながら、授業デザインに見取りを生かしている(80%以上)。

自己を見つめ生き方を探る「My Learning」
重点目標②

◎自己の変容や学びを語り合い、アドバイスし合う活動を通じてかけがえのない自己を探究し、なりたい自分や生き方を探る。

・体験を通じた自らの学びを、異学年で語り合う。
★生徒は、自分の変容を分析し自己を認め、半年後になりたい自分を見つけようとしている(70%以上)。
★教師は、生徒に振り返る視点を提示し、プロセスを評価する言葉かけを行っている(70%以上)。

協働で挑戦する「プロジェクト学習」
重点目標③

◎生徒の発意に根ざしたプロジェクト学習を、地域資源（地域風土・文化・人等）を活用しながら、生徒主体で推進する。

・プロジェクト学習一覧表を作成して地域に発信し、学校内外の様々な立場から学びを俯瞰・交流する。
★生徒はプロジェクト学習で学んでいることを自分の言葉で表現できる(80%以上)
★教師は、生徒が挑戦できるように見通しを持たせた話し合いの場を設定したりするなど適切なアドバイスを行っている(80%以上)。

【業務改善】〇定期テストの年間実施回数を３回とする。　〇定期テスト日の午後を校務優先日とする。　〇週案を活用し計画的な業務運営を行う。
〇超勤 80 時間以上の教職員は０人。　〇年休を年間で 11 日以上取得する。　〇職員会議・企画委員会等の効率的実施。

令和５年度教職員

☆印は新任

校　長	☆	野坂　訓由（越廼中より）
教　頭		伊藤　良知
１年担当		田村　雅彦（特支・技）主任・4組担任
		高田安希子（国）　1組担任
	☆	藤原千惠子（特支）3組担任
２年担当		森阪　美文（英）　主任
		竹内　恭平（数）　1組担任
	☆	岩堀智代美（事務）（社西小より）
３年担当		伊部　雅之（社）　主任
		橋本　甲斐（体）　1組担任・生徒指導
	☆	坂本　浩英（理）　教務（越廼中より）
	☆	藤田　美保（養護）（社中より）

☆家　庭	石丸真知子
美　術	中村　美花
音　楽	中山　里香
英　語	加藤　千文
調理技師	佐藤　貴美
施設技師	加藤　義介
☆いきいきｻﾎﾟｰﾀｰ	川嶋　明代
☆通級指導	横山　　忍
ＡＬＴ	ビンセント
ＡＬＴ	テイラー
ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	山澤　昌子
学校運営支援員	近藤　千裕

生徒の教育に全力で取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いします。